

2. 開催の支援

(1) 街中でのおもてなし

概要編に記載した以外にも街中では様々なおもてなしの取り組みがありました。

【G20岡山保健大臣会合開催記念事業 観光地クリーン運動】

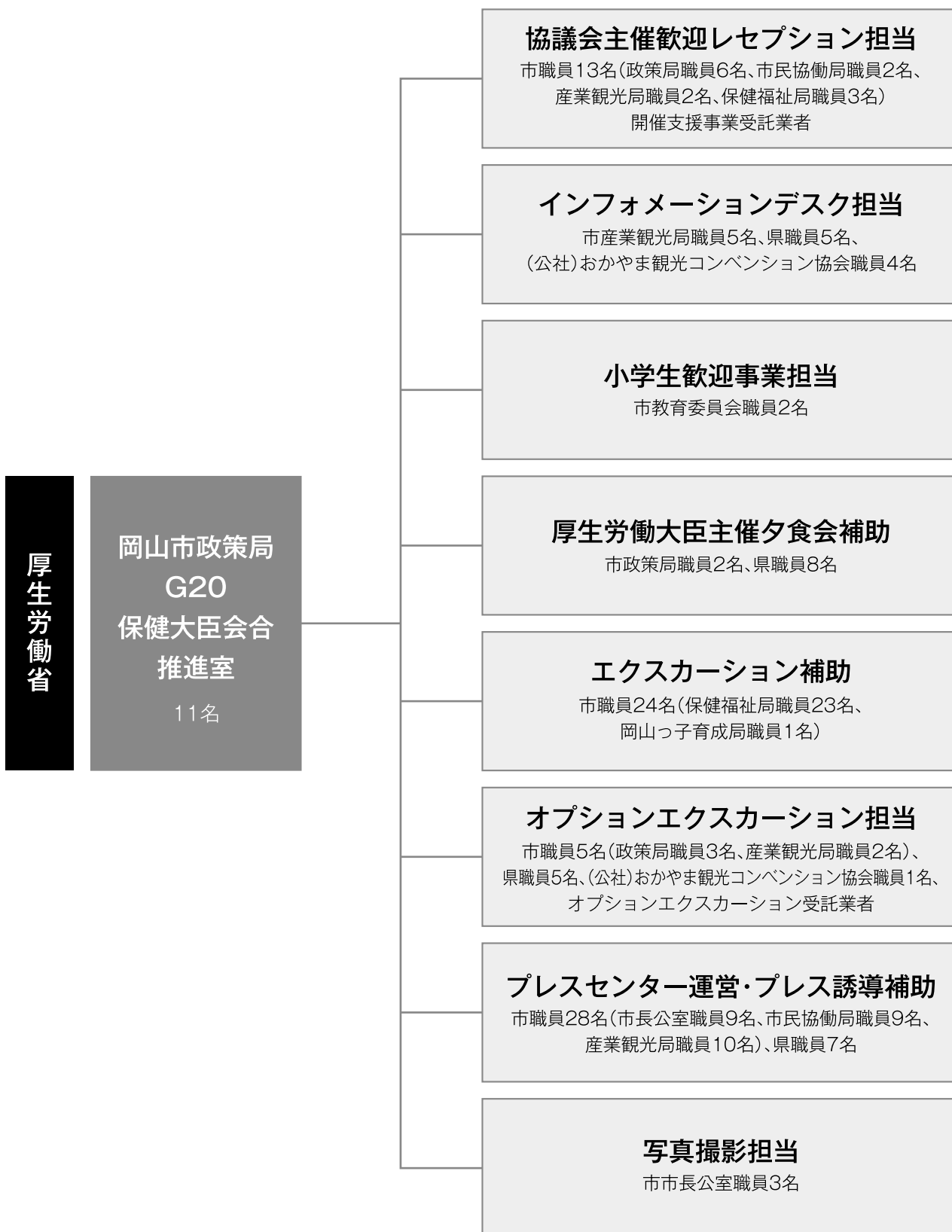
- 日 時 2019年(令和元年)8月17日(土) 8時～
- 場 所 烏城公園周辺一帯
- 主 催 岡山市、(公社)おかやま観光コンベンション協会
- 趣 旨 美しい観光地づくりを通して関連業界、市民の意識の高揚を図り、秋の観光シーズンに備えるため1984年(昭和59年)から実施しています。今回は大臣会合参加者をおもてなしの心でお出迎えするため清掃を実施しました。
- 参加者 約280名

【G20おもてなしクリーンアップ!】

- 日 時 2019年(令和元年)10月12日(土) 10時～11時
- 場 所 JR岡山駅周辺
- 主 催 特定非営利活動法人green bird 岡山チーム、岡山市、協議会
- 趣 旨 大臣会合の開催に伴い、世界中から訪れるお客様を美しい街でお迎えするため、特定非営利活動法人green bird 岡山チームとの協働で、JR岡山駅周辺でごみ拾いを実施するもの。
※実施予定日が悪天候だったため「G20おもてなしクリーンアップ!」は中止になりましたが、2019年(令和元年)10月14日(月・祝)に特定非営利活動法人green bird 岡山チームが自発的にJR岡山駅周辺でごみ拾いをされました。

2. 開催の支援

(2) 当日の会合支援体制



(3) 地元小学生による歓迎

① メッセージカードの作成

2019年(令和元年)10月9日(水)に開催された国旗に関する特別授業で、参加児童全員がメッセージカードを作成しました。HODをエスコートした児童はHODにメッセージカードを手渡し、HODエスコート担当以外の児童が作成したメッセージカードはホテルグランヴィア岡山3階ホワイエに展示しました。



展示されたメッセージカード



表面

中面

② 取材対応

歓迎セレモニー終了後、児童たちはメディアセンターで多くのメディアから取材を受けました。

■日時 2019年(令和元年)10月19日(土) 13時30分～

■場所 メディアセンター(ターミナルスクエア12階)



取材を受ける児童

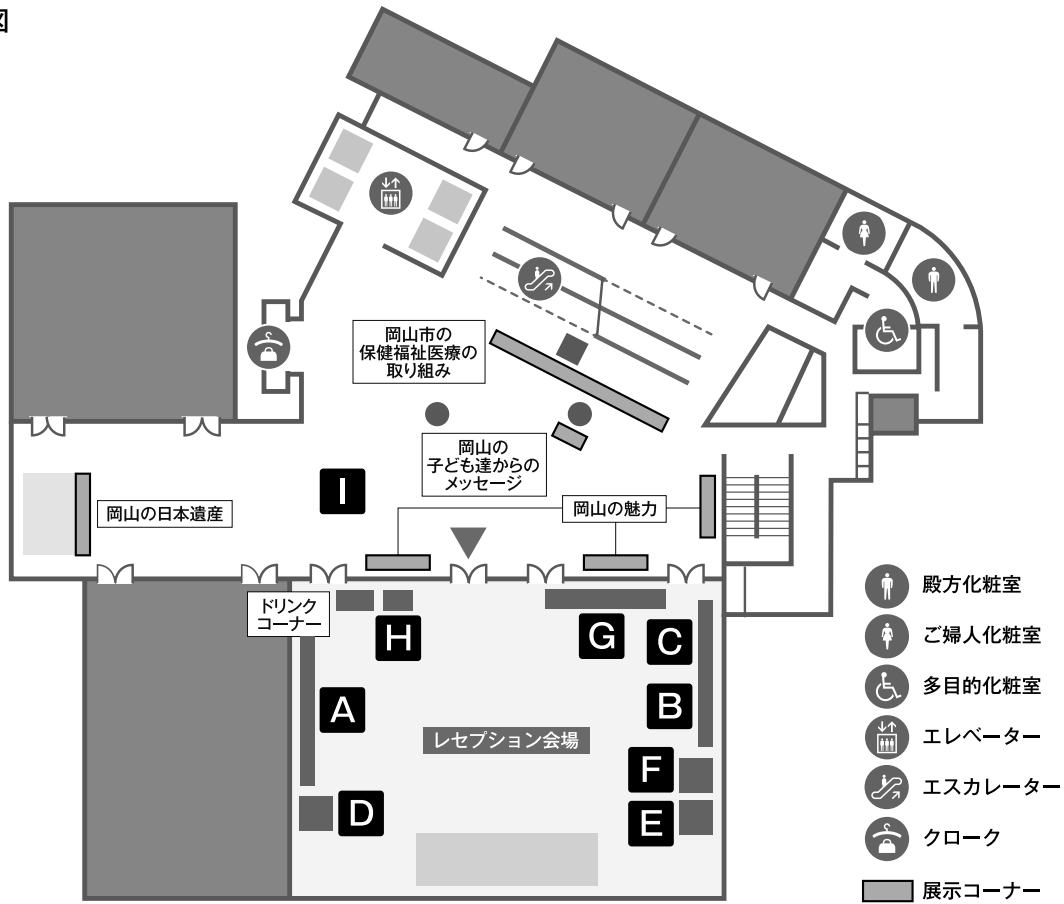


2. 開催の支援

(4) 協議会主催 “Welcome to Okayama” レセプション

- 日 時 2019年(令和元年)10月18日(金) 19時～21時
- 場 所 ホテルグランヴィア岡山3階 クリスタル
- 参加者 ・加藤厚生労働大臣
 ・各国・地域・国際機関の代表団
 ・地元選出国會議員
 ・協議会顧問、会長、副会長、監事、委員、幹事長、幹事、保健・医療部会部会長・部会員
 ・岡山市議会総務委員会委員長
 ・岡山市議会保健福祉・協働委員会委員長
 ・岡山県議会副議長
 ・岡山県議会総務委員会委員長
 ・岡山県議会環境文化保健福祉委員会委員長 ほか約200名
- 次第
- 18時45分 ウェルカム演奏(弦楽四重奏+琴演奏)
 19時 開会、オープニングアトラクション(弦楽四重奏+琴演奏)
 19時 5分 主催者歓迎あいさつ(協議会会長 大森岡山市長)
 19時20分頃 鏡開き
 19時25分頃 乾杯の発声、あいさつ(協議会顧問 伊原木岡山県知事)
 19時30分頃 加藤厚生労働大臣あいさつ
 19時45分 大森岡山市長、伊原木岡山県知事記者会見
 (場所 ホテルグランヴィア岡山3階 サファイア)
 20時 アトラクション ピアノ演奏
 20時40分 アトラクション 備中神楽
 21時 閉会
- 形式 立食
- アトラクション 【ウェルカム演奏】弦楽四重奏+琴演奏
 ・演奏者 弦楽四重奏:岡山フィルハーモニック管弦楽団
 琴:山路みほ
 ・曲 目 「主よ人の望みの喜びよ」、「ディベルティメントKv.138 第1楽章」、
 「春の海」、「鳥のように」(琴単独演奏)
- 【オープニングアトラクション】弦楽四重奏+琴演奏
 ・演奏者 弦楽四重奏:岡山フィルハーモニック管弦楽団
 琴:山路みほ
 ・曲 目 「花は咲く」
- 【ピアノ演奏】
 ・演奏者 山地真美
- 【備中神楽】
 ・演 者 備中成羽社
 ・演 目 「大蛇退治」

■会場図



■メニュー

- A** ・岡山県産のお野菜と瀬戸内の貝類 マスカットビネガーで香りをつけて ■
- ・瀬戸内産太刀魚と才巻海老のテリーヌ
- ・岡山県奈義町の“なぎビーフ”のロースト ■
- ・瀬戸内産鯛、はりいか、下津井蛸のプラッター いろいろなコンディマン 新見キャビア ■
- ・岡山県産森林鶏のテリーヌ 牛窓町のマッシュルームのピクルス
- ・“晴れの国”岡山県産のお野菜を様々な調理法でサラダ仕立てに ■■□
- ・瀬戸内産天然すずきのパイ包み焼き 桃太郎トマトのソースシヨロン
- ・クエとアコウ 魚醤と野菜で寄せ鍋風に
- ・仔羊背肉のハーブロースト 岡山特産黄ニラとじゃがいものピュレ ■
- ・岡山県産森林鶏と蒜山ジャージー牛乳のフリカッセ ■
- ・瀬戸内の魚介と野菜のエッセンスたっぷりのパエリア ■
- ・岡山県産あさひ米を使った山椒香る麻婆炒飯

■ムスリムフレンドリー ■ベジタリアンフード □ビーガンフード

2. 開催の支援

■メニュー

- B** ・岡山県産小松菜とりんごのスムージー ■■
 ・チーズの盛り合わせ 岡山県産の米粉、小麦粉をつかったパンと共に ■■
 ・かも川手延べ素麺(岡山県産)「鯛そうめん」
 ・酢物盛合せ
 (ままかりカボス漬け 蝦蛄 岡山県産赤茄子 蓮芋 瀬戸内檸檬)
- C** ・ほたて貝柱と海老のブイヤベース仕立て ■
 ・瀬戸内産天然すずきのローストトマトバジルソース ■
 ・岡山県産黒毛和牛の“ビーフカレー”と五穀米 ■
 ・岡山県産森林鶏とお野菜のアヒージョ ■
 ・瀬戸内産真鯛黄身焼唐墨仕立て ■
 ・レンズ豆のスープ ■■□
 ・岡山のお野菜を様々な調理法で(ロースト、コンフィ、グリエ、ポイル、ソテー) ■■□
 ・ラタトゥイユ ■■□
 ・お野菜とオリーブのパスタ ■■□
 ・岡山県産そうめん瓜お浸し 利休衣(豆腐・胡麻・湯葉) 花穂紫蘇 ■■□

■コーナー料理

- D** ・握り寿司 ■
- E** ・岡山県産千屋牛フィレ肉の鉄板焼き 松茸添え ■
- F** ・野菜天婦羅(サイトウファームのオクラ、南京、茄子) さつまいも 獅子唐 抹茶塩 ■■
- G** ・岡山県産をはじめとするいろいろなフルーツ盛り合わせ ■■□
 ・岡山県産柿と抹茶のアイスクリーム最中 ■■
 ・デザート、パン ■■□
 ・コーヒー ■■□
 ・高粱紅茶 ■■□
- ムスリムフレンドリー ■ベジタリアンフード □ビーガンフード

■岡山の地酒コーナー(協力:岡山県酒造組合)

H 【ウェルカムドリンク】

・丸本酒造(浅口市)/泡々酒

【地酒コーナー】

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ・宮下酒造(岡山市)/極聖 雄町 純米大吟醸 | ・菊池酒造(倉敷市)/燦然 純米大吟醸、 |
| ・萬歳酒造(岡山市)/さつき心 純米吟醸 精魂一滴 | 木村式奇跡のお酒 純米吟醸 雄町 |
| ・赤磐酒造(赤磐市)/純米吟醸 桃の里 | ・平喜酒造(浅口市)/喜平 純米大吟醸 雄町の雫 |
| ・室町酒造(赤磐市)/櫻室町 純米吟醸 佐近リアル | ・白菊酒造(高梁市)/大典白菊 純米大吟醸 雄町 |
| ・利守酒造(赤磐市)/酒一筋 赤磐雄町 純米大吟醸 | ・落酒造場(真庭市)/大正の鶴 純米吟醸 |
| ・十八盛酒造(倉敷市)/多賀治 純米雄町 | ・田中酒造場(美作市)/武蔵の里 純米吟醸 |

スタッフ協力:丸本酒造、菊池酒造、宮下酒造

■お茶席

1 協力:一般社団法人 茶道裏千家淡交会岡山支部

■ドリンクメニュー

【ビール】

- ・キリン
- ・アサヒ
- ・サッポロ
- ・サントリー
- ・独歩

【焼酎】

- ・芋焼酎 天空の酔神 岡山の芋じゃががぁ
- ・麦焼酎 十酔伝説 岡山の麦じゃががぁ
- ・米焼酎 仄仄

【ワイン】

- ・スパークリングワイン
- ・白ワイン
- ・赤ワイン
- ・デザートワイン

グランポレール エスプリ ド ヴァン ジャポネ 唯 スパークリング
ルー・デュモン ペイドック シャルドネ ジブリ コラボレーションラベル
是里ワイン リースリング

ドメーヌ tetta シャルドネ パーセルエリアB-1

グランポレール エスプリ ド ヴァンジャポネ 泉-SEN-

グランポレール 岡山 マスカットベリーA 樽熟成 2017

グランポレール 岡山 マスカットベリーA バレルセレクト 2017

ルー・デュモン ペイドック ピノ ノワール ジブリ コラボレーションラベル
ルー・デュモン ペイドック 紅の豚 ジブリ コラボレーションラベル

グランポレール 岡山 マスカット・オブ・アレキサンドリア<薫るブラン>


【ミネラルウォーター】

- ・ペリエ
- ・富士ミネラル

【ソフトドリンク】

- ・ウーロン茶
- ・オレンジジュース
- ・アップルジュース
- ・グレープフルーツジュース
- ・コカ・コーラ
- ・ジンジャーエール
- ・岡山清水白桃サイダー

■式次第



G20 岡山保健大臣会合
OKAYAMA Health Ministers' Meeting

"Welcome to Okayama" Reception

日 時 2019年10月18日(金)19:00~21:00
会 場 ホテルグランヴィア岡山 3階フリスタル
主催 G20岡山保健大臣会合支援推進協議会

プログラム

1. 開 業
2. オープニングアトラクション 岡山フィッシャーモーター警団楽団 佐藤四重奏
山崎みほ(琴演奏家)
3. 主催者歓迎挨拶 G20岡山保健大臣会合支援推進協議会 会長
岡山市長 大森 啓夫
4. 厚生労働大臣ご挨拶 厚生労働大臣 加藤 勝信 様
5. 饗 開 き
6. 乾 杯 G20岡山保健大臣会合支援推進協議会 顧問
岡山県知事 伊原 伸 氏大
7. 食事談話
8. アトラクション 山崎 真美(横濱響等七アニスト)
優中成役社(優中舞)
9. 閉 業

日本語



G20 岡山保健大臣会合
OKAYAMA Health Ministers' Meeting

"Welcome to Okayama" Reception

Date & Time October 18, 2019, Fri, 19:00 to 21:00
Venue HOTEL GRANVIA OKAYAMA
Grand Ballroom 3F
Organized Promotion Council for Support of
G20 Health Ministers' Meeting

Program

1. Opening
2. Opening performance Okayama Philharmonic Orchestra & String Quartet
YAMAJI Miho (Koto performer)
3. Welcome address Chairperson, Promotion Council for Support of G20 Health Ministers' Meeting
Mayor of Okayama City, OMORI Masao
4. Address by Minister of Health, Labour and Welfare Minister of Health, Labour and Welfare, NH, KATO Katsunobu
5. Kagami-biraki sake-barrel opening ceremony
6. Toast Advisor, Promotion Council for Support of G20 Health Ministers' Meeting
Governor of Okayama, HARAGI Ryuta
7. Buffet-style dinner
8. Performance YAMAJI Miho (Okayama pianist)
Bicchu Natwa Ensemble (Bicchu Angura Dance)
9. Closing

英語

2. 開催の支援

(5) 会場装飾・展示

【装花】

- 設置場所 ホテルグランヴィア岡山1階 ロビー
- 協力 岡山県花き消費拡大実行委員会
- 担当デザイナー 杉本 一洋氏
- 岡山県産使用花材 フォックスフェイス、ソリダゴ

【工芸菓子】

- 内 容 地元の製菓企業の工芸菓子職人が制作した作品を大臣会合会場に展示
- 設置場所 ホテルグランヴィア岡山4階 ホワイエ
- 協力 株式会社宗家源吉兆庵

【パネル展示】

① 岡山の魅力紹介パネル

- 内 容 備前地域紹介パネル、備中地域紹介パネル、美作地域紹介パネル
- 設置場所 (1)ホテルグランヴィア岡山3階 ホワイエ
(2)メディアセンター(ターミナルスクエア12階)
- サイズ (1)W3,600mm×H2,100mm×D600mm 3式
(2)W594mm×H841mm(A1パネル) 6枚

② 岡山の日本遺産紹介パネル

- 内 容 日本遺産「[桃太郎伝説]の生まれたまち おかやま」の紹介
- 設置場所 ホテルグランヴィア岡山3階 ホワイエ
- サイズ W5,400mm×H2,100mm×D600mm 1式

③ 岡山の保健福祉医療の取り組み紹介パネル

- 内 容 岡山の保健福祉医療の歴史や現在の取り組みを紹介
- 設置場所 (1)ホテルグランヴィア岡山3階 ホワイエ
(2)メディアセンター(ターミナルスクエア12階)
- サイズ (1)W7,200mm×H2,100mm×D600mm 1式
(2)W594mm×H841mm(A1パネル) 8枚

(6) 協議会からの贈り物

【HODへの記念品】

○烏城彫 飾皿

- デザイン 桜・G20オリジナル
表面に「岡山」表記
裏面に「OKAYAMA G20 JAPAN Health Ministers' Meeting 19,20 October 2019」の文字入れ
- サイズ 1尺(直径約30cm)
- 贈呈方法 協議会主催レセプション時に各国代表団のリエゾンに配布し、リエゾンから贈呈

【随行者への記念品】

○烏城彫 飾皿

- デザイン 桜・G20オリジナル
表面に「岡山」表記
裏面に「OKAYAMA G20 JAPAN Health Ministers' Meeting 19,20 October 2019」の文字入れ
- サイズ 6寸(直径約18cm)
- 贈呈方法 協議会主催レセプション時に各国代表団のリエゾンに配布し、リエゾンから贈呈

【“Welcome to Okayama”レセプション参加者へのお土産】

○G20岡山保健大臣会合オリジナル升

- デザイン G20岡山保健大臣会合ロゴマーク
岡山城と岡山後楽園
- サイズ W820mm×H550mm×D810mm
- 贈呈方法 協議会主催レセプション退場時に手渡し

○G20岡山保健大臣会合オリジナルパッケージハラル認証きびだんご

- デザイン パッケージにG20岡山保健大臣会合ロゴマーク
英語の成分表示
- サイズ W1,260mm×H26mm×D1,950mm
- 内容 15個入り ※ハラル認証取得
- 製造 株式会社廣榮堂
- 贈呈方法 協議会主催レセプション退場時に手渡し

2. 開催の支援

(7) コングレスバッグ

厚生労働省がHOD・随行者及びプレスに配布するコングレスバッグに、岡山の観光ガイドや観光マップ等も同梱しました。



コングレスバッグ

【コングレスバッグ封入物一覧(会議資料除く)】

準備主体	品名	配布対象		
		HOD 随行者	プレス	
厚生労働省	倉敷帆布コングレスバッグ	○		
	大臣会合記念品	ボールペン	○	○
		クリアファイル	○	○
		メモ	○	○
	プレスバッグ		○	
	取材要領		○	
協議会	岡山市観光ガイド(英語版)	○		
	岡山市観光ガイド(日本語版or英語版)		○	
	岡山後楽園・岡山城共通パンフレット(英語版)	○		
	岡山後楽園・岡山城共通パンフレット(日本語版or英語版)		○	
	岡山県紹介冊子(日英併記) ※中国語(簡体字)、韓国語版もあり	○	○	
	岡山県観光マップ(英語版) Japan Okayama Tourism Guide Map ※中国語(繁体字・簡体字)、仏語、タイ語、韓国語版もあり	○		
	岡山県観光パンフレット OKAYAMA JAPAN 日本岡山 (旅行会社向け/英語・中国語【繁体字版】)		○	
	日本遺産パンフレット(英語版)	○		
	日本遺産パンフレット(英語版or日本語版)		○	
	Delicious Okayama(英語版レストランガイド)	○	○	
	岡山芸術交流チラシ(日英併記)	○	○	
	G20岡山保健大臣会合支援推進協議会メモ帳	○	○	
	BRANCH岡山北長瀬パンフレット(日本語版)		○	

(8) メディアセンターでの対応

メディアセンター内に地元企業等のお菓子・パン、岡山の観光パンフレット、岡山の魅力紹介パネル、岡山の保健福祉医療の取り組み紹介パネル等を設置し、各メディアを対象に大臣会合開催地の岡山の食、観光、保健福祉医療の歴史・取り組みをPRしました。

■設置場所 メディアセンター内(ターミナルスクエア12階)

■設置内容 【菓子・パン類】

- ・大手まんぢゅう(特別包装)(おかやま城下町物語実行委員会 提供)
- ・おかやま桃子 清水白桃ぶりん(岡山市オリジナルパッケージ)
- ・きびだんご
- ・プリせん(岡山後楽園・岡山城プリント)(岡山後楽園・岡山城等連携推進協議会 提供)
- ・蒜山高原生クリームパン／蒜山高原カフェオレクリームパン(協賛品)

【パンフレット類】

- ・岡山観光案内パンフレット
- ・サイドイベント「つづける わたしのケンコー宣言」パンフレット
- ・「岡山芸術交流 OKAYAMA ART SUMMIT 2019」パンフレット

【ノベルティグッズ】

- ・絆創膏
- ・ビニールバッグ

【パネル】

- ・備前地域紹介パネル・備中地域紹介パネル・美作地域紹介パネル
サイズ W594mm×H841mm(A1パネル) 6枚
※ホテルグランヴィア岡山3階 ホワイエ展示のものと同内容
- ・岡山の保健福祉医療の取り組み紹介パネル
サイズ W594mm×H841mm(A1パネル) 8枚
※ホテルグランヴィア岡山3階 ホワイエ展示のものと同内容
※パネルを日本語にした資料も印刷してメディアセンターに設置しました

【G20国旗おりづるウェルカムボード】

「おかやまこ未来フェスタ 2019」の「G20岡山保健大臣会合国旗おりづるワークショップ」で制作したウェルカムボードを展示しました。

サイズ W1,500mm×H1,500mm

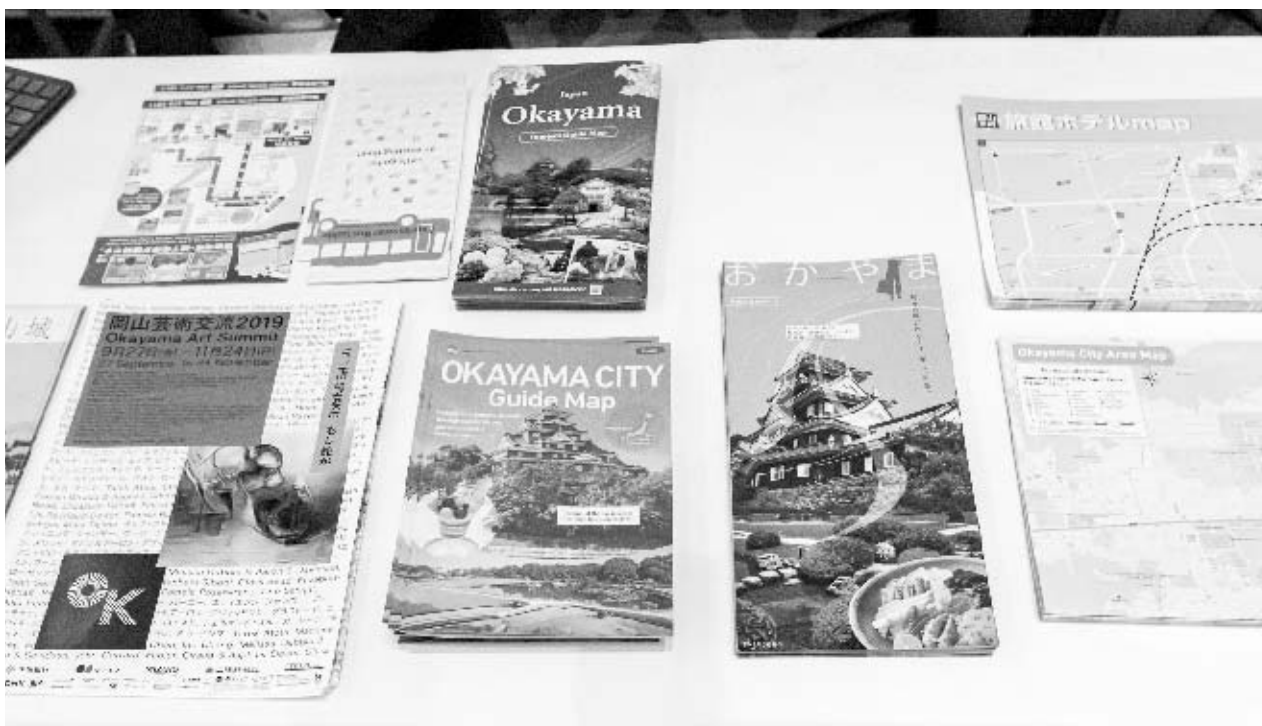
2. 開催の支援

(9) インフォメーションデスク

- 設置日時 2019年(令和元年)10月18日(金) 11時～19時
 10月19日(土) 8時～19時
 10月20日(日) 8時～15時

■設置場所 ホテルグランヴィア岡山1階 ロビー

■内 容 おかやま観光コンベンション協会職員、岡山市職員、岡山県職員が常駐し、参加者からの観光情報等に関する問い合わせに対応しました。また英語のガイドマップ等のパンフレット類を設置しました。



パンフレット類

環境への配慮

大臣会合及び関連イベントの開催に際し、環境への配慮も重要な視点であると考え、大臣会合におけるHODをはじめ関係者の移動交通や各会場のエネルギー使用等に伴うCO₂排出量を、岡山市のJ-クレジット(廃食用油由来のバイオディーゼル燃料導入によるCO₂排出削減事業)を活用し、カーボン・オフセットしました。

CO₂排出量 157,883kg - CO₂

CO₂無効化量 158,000kg - CO₂



(10) 地元高校生による政策提言発表

① 提言書内容全文



Policy Proposal From Local High School Students

Okayama Sozan High School
Okayama Joto High School
Okayama Gakugeikan High School
October 19, 2019

Ladies and gentlemen, welcome to Okayama and we are all glad to have the opportunity to see all of you. Okayama has been designated as a SDGs future city, and in line with the city's theme - advancement through health for all, mutual learning, and active living - and utilizing its experience with Education for Sustainable Development, the city is currently working on a number of issues. We are high school students representing 3 different schools in Okayama city and today, we would like to present what we have researched on global health issues, particularly women's health.

Okayama Joto High School

Watching a short movie, I learned that women in some countries have been discriminated against just for simply "being women". This discrimination is due to a lack of accurate knowledge. This fact really staggered me. Let me address the important points of the movie:

- ・Awareness of women's menstruation is low, and even among women there is a reluctance to speak about it.
- ・Due to poverty, access to hygienic menstrual products is restricted, and in place of these products, many women use unsanitary cloths, etc.
- ・The use of such unsanitary objects is responsible for bringing about contagious disease, to the extent that many people are even forced to stop attending schools.

Last year in Okayama, the Western Japan Flood brought serious damage to the area, claiming the lives of 61 people and forcing approximately 2,700 to evacuate from their homes. Although supplies of food were sufficiently provided, menstrual products were not. Furthermore, even when they were supplied, some women expressed other concerns, such as feeling awkward when receiving and using these products in evacuation shelters due to poor awareness of the menstrual issues by men. Even in Japan, ignorance and misunderstanding about women's menstruation persist. Mere material and financial assistance are not sufficient to solve this problem. What is necessary is knowledge and recognition of menstruation.

Okayama Gakugeikan High School

Last year we witnessed the reality of healthcare in Myanmar and Cambodia. In Myanmar, we saw that many people did not have access to a hospital, and that expecting mothers were not willing to deliver their babies at hospital. In Cambodia, a lot of children chose to work on their own without learning about their own bodies due to a lack of access to health education. In order to improve the situation in Cambodia, we have been implementing an operation to encourage health education there in collaboration with an Okayama-based NPO. Today, universal health coverage is known to be a global health agenda, but developing countries face serious challenges to provide health education on their own. We strongly feel the need for people all over the world to recognize that, above all, the women and children in the developing world are so vulnerable that they may not have access to healthcare.

Okayama Sozan High School

Our home prefecture, Okayama, faces the Seto Inland Sea. Currently, there are 85 remote islands in Okayama Prefecture, 14 of which are inhabited by people, but of these, only 8 have medical facilities, and none have obstetrics and gynecology clinics. The lack of physicians is a serious concern on these remote islands. In response to these issues, Japan implemented several solutions:

In the 1970's, Japan began to work on Telemedicine. Since then, Japan has made progress in this area in terms of patient care and inter-professional collaboration. As of 2012, 96.1% of remote islands had broadband capability. For example, remote fetal monitoring using telemedicine has been implemented in these islands where physician shortage has been an issue.

According to a 2019 UN agency report, 94 percent of all maternal deaths still occur in low- and lower middle-income countries. However, even in Africa as a whole, as of 2014, 84.7% of the population own mobile phones, and communication infrastructure has been established at a remarkable rate. Given this environment, we believe that with the G20 leading, by providing environmental improvement and technical support to improve perinatal care with telemedicine, we can significantly contribute to meeting the medical needs of expectant and nursing mothers.

We would like to propose two ideas to the G20 Health Ministers: spreading the importance of "knowledge" and "connection". We high school students even may get to "Know" something new. Now, using the power of the Internet, we can not only spread our knowledge that we have researched and understood, but also share our opinions and participate in existing active organizations. This is the first step for transforming "knowledge" to "connection". "Connection" is the most important element of our proposal. We believe building "connection" can only be accomplished with active cooperation of all of you attending this meeting. For example, using the Web, we can build a worldwide support network and a telemedicine network with your help. We sincerely hope to be a channel to deliver equitable healthcare to people all over the world by spreading the importance of "knowledge" and "connection".

2. 開催の支援

【日本語訳】



G20高校生による政策提言

岡山県立岡山操山高等学校
岡山県立岡山城東高等学校
岡山学芸館高等学校
2019年10月19日

みなさん、ようこそ岡山市へおいでくださいました。岡山市はSDGs未来都市に選定され、「誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまち、おかやまの推進」のテーマのもと、これまでのESD活動を生かして、様々なことに取り組んでいます。私たちは岡山市にある3つの学校の高校生です。私たちは、女性を取り巻く保健や医療の問題について研究しています。

【岡山県立岡山城東高等学校】

私は、ある短編映画から、正しい知識がないがゆえに“女性である”ということだけで差別、軽視されている現状を知り、とても衝撃を受けました。具体的には次のようなことです。

- ・月経についての認知度が低く、女性同士でも口にしない
- ・貧困により生理用品の入手が困難で、代替品として不衛生な布などを使っている
- ・月経が原因で感染症を引き起こし、学校さえ辞めていくケースもある

私たちの住む岡山県では昨年、豪雨災害があり61人の犠牲者を出し、約2,700人が避難生活を余儀なくされました。そのとき、食料品の支援は十分ありましたが、生理用品の支援は不足していたことを聞いています。また、支給されても、生理用品をもらうことが気まずかった、周りの男性の意識が低く困った、生活しづかった、などの声も上がっています。日本でも、月経に対して無知と無理解が残っています。この問題は、物質的な支援、金銭的な支援だけでは解決しません。人々の月経に関する知識と理解が何よりも必要です。

【岡山学芸館高等学校】

私たちは昨年、ミャンマーとカンボジアの保健医療の現状を自分たちの目で見てきました。ミャンマーでは、病院に通うことができない、また、妊婦が病院で出産する選択をしないという現状を目の当たりにしました。カンボジアでは、子どもたちが、保健教育を受けることができないため、自分の体のことすら勉強せずに、社会に出て行く現状を知りました。私たちは今、この現状を変えるためにカンボジアでの保健教育の促進に向け、岡山のNPOと共同して、自分の体のことを知るための事業を実施しています。UHCが世界的な保健課題として知られている今日、開発途上国では保健教育においても大きな課題を持っています。私たちは、世界の、とりわけ開発途上国の女性と子どもが保健医療の分野において危機的状況にあることを、世界中の人々が認知することから始めなくてはいけないと強く感じています。

【岡山県立岡山操山高等学校】

私たちの住む岡山県は瀬戸内海に面しています。現在、岡山県には85の離島が点在しており、人々が生活している離島は14島、そのうち医療機関のある離島は8島ですが、産婦人科のある離島は存在しません。離島における医師不足は深刻な課題となっています。このような課題に対し日本では1970年代から遠隔医療の取組が始まり、患者に対して実施されるものや医療従事者間で行われるものなど進展しています。2012年時点で96.1%の離島でブロードバンドが利用可能であり、妊婦の胎児遠隔モニタリングなどは、離島の医師不足環境下においても有用な手段となっています。

国連機関による2019年報告書によると、妊産婦死亡の94%が、十分な保健医療を受けられない貧しい国々で起こっています。一方で、アフリカ全体における携帯電話の人口普及率は2014年時点で84.7%であり、めざましい勢いで通信環境は整備されています。G20参加国が中心となり、遠隔周産期医療に対する環境整備や技術支援を行うことで、保健医療を求める妊産婦に大きく貢献できると考えます。

このG20という素晴らしい機会に私たちが主張したいことは、「知る」と「つながる」を広げることです。「知る」は、私たち高校生にも出来ます。今は、自分達が調べたことやわかったことを、ネットを使って発信し、また、既に活躍している団体に参加し、自分の意見を言い、ともに活動することもできます。これが「知る」から「つながる」への第一歩です。もっと大きな「つながる」は、この会議に参加されている国々の協力があることで出来ることだと考えます。例えば、Webを使って、世界規模での支援のネットワーク、遠隔医療のネットワークを構築することなどです。「知る」と「つながる」を広げることで、保健医療を世界中の人々全員にとどけることが私たちの願いです。

②取材対応

政策提言終了後、政策提言を発表した高校生は、メディアセンターで多くのメディアから取材を受けました。

■日 時 2019年(令和元年)10月19日(土) 13時30分～

■場 所 メディアセンター(ターミナルスクエア12階)

■参加者 政策提言発表生徒8名全員



インタビューを受ける高校生



③協議会会長からの感謝状贈呈

政策提言発表参加校3校及び生徒8名に対して協議会会長から感謝状(盾)を贈呈しました。
(協賛企業・団体様への感謝状贈呈式と同時開催しました。)

■日 時 2020年(令和2年)1月17日(金) 16時45分～

■場 所 岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

■感謝状 鏡製盾

参加校:W250mm×H200mm

生徒:W145mm×H115mm



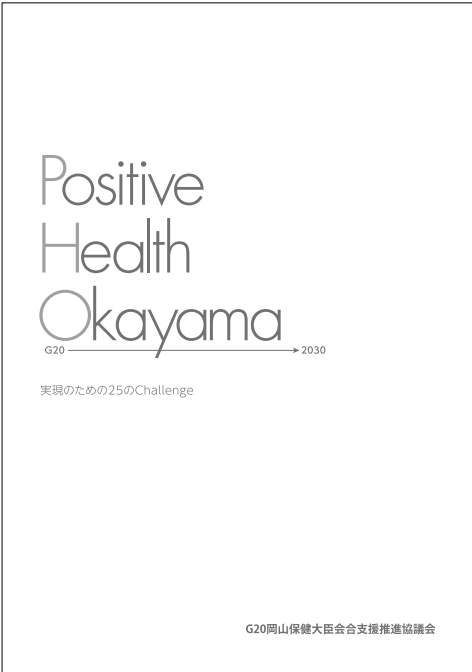
感謝状贈呈式



高校生感謝状

2. 開催の支援

(11) Positive Health Okayama (PHO) の概要



岡山の保健医療の目指すべき姿「Positive Health Okayama」を宣言します

Positive Health Okayama とは
子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず生きがいを持ち活躍できる社会をみんなで目指すこと

実現のために必要な2つのこと

1 「健康」の捉え方のイノベーション
病気がないとか、寿命が長くなることだけが「健康」ではないか？
なかから、2030年の岡山が目指すべき健康医療の姿を導き出すため、その実現に向けてみんなで行動していくべきを提案しました。
なかで、「健康」が人の心だけでなく、環境や地域社会の良さを指しているとしても、それだけが「生きがい」を伴って「よりよく生きる」とは難しいです。そこで、岡山県が掲げる「健康」が他との考えを踏まえた「健康」ではないか、という議論がエッセンス。
この新たな「健康」の捉え方を必要とするのが「一体的ケア」とし、これに向けて取り組むことが望まれます。

2 地域において「健康な生活」を実現できる仕組み 一体的ケア
人口の増加、高齢化が進む中、この先ますます人手が足りなくなり、医療・介護の負担は大きくなる。さらには社会参加が難しくなる中、一人が、身体だけでなく、心も健康で、社会参加がしやすいような仕組みが必要だ。健康医療・地域経済を両立可能な仕組みを構築し、「一体的ケア」が実現できると考えた。

「一体的ケア」とは健康な生活の実現を個人の力で実現するのではなく、社会全体の協力を促すため、医療（医師）の他、看護師、介護士、保健師、行政職員、福祉関係者、民間関係者が互いに協力し合い、連携し合い、それぞれの専門性を活かし、個人の健康な生活の実現をサポートすることで、「健康医療」とも「健康な生活」を実現することができると考え、これをより一歩踏み込んでいくこととする。

「一体的ケア」とは
誰もが健康な暮らしを送るために、一人ひとりの「健康な生活」の実現が、各関係者間の連携や行動、個人が主体的に行動できるように、この「会」を通じてそれぞれの立場から様々な形で関わりあがり、サポートする仕組みです。

私たちが目指す2030年の姿

Stage 1: 2025年までに、健康医療・地域経済を両立可能な仕組みを構築し、「一体的ケア」を実現させる。
Stage 2: 2030年までに、健康医療・地域経済を両立可能な仕組みを構築し、「一体的ケア」を実現させる。
Stage 3: 2035年までに、健康医療・地域経済を両立可能な仕組みを構築し、「一体的ケア」を実現させる。

市民: 健康な生活の実現、社会参加、健康医療・地域経済の両立。
自治体: 健康医療・地域経済の両立、健康な生活の実現、社会参加のサポート。

2025年までに、健康医療・地域経済を両立可能な仕組みを構築し、「一体的ケア」を実現させる。
2030年までに、健康医療・地域経済を両立可能な仕組みを構築し、「一体的ケア」を実現させる。
2035年までに、健康医療・地域経済を両立可能な仕組みを構築し、「一体的ケア」を実現させる。

私たちが取り組むこと ～ PHO Challenge25 ～

地域において「健康な生活」を実現できる仕組み

Ⅰ 個人の健康増進を実現する環境の整備

健康増進を社会的な課題として捉え、その重要性を理解し、各平人が具体的に行動に移しやすい、そしてその行動を妨げやすい環境を整える必要があります。

- Challenge 01 二六省庁改革プロジェクト（ヘルスケア推進事業）への民間資金・ノウハウの活用
- Challenge 02 健康志向に取り組み企業の増加
- Challenge 03 ESD推進の一環としての健康教育の推進
- Challenge 04 医療費控除の拡大に向けた取組推進

Ⅱ 一体的ケア関係者の役割分担の共有と積極的な動き ～地域の医療関係者で支援する体制の構築など～

市民一人ひとりの状態を悪化させないよう、医師、薬剤師、看護師などの地域の医療関係者がチームとなって連携する体制を構築します。

- Challenge 05 医療関係者のネットワークの強化を図る
- Challenge 06 認知症対策の推進
- Challenge 07 フレイル対策の推進
- Challenge 08 女性の活躍推進のための健康支援の推進（女性特有の疾病への対応の充実）
- Challenge 09 子どもから働き盛り世代まで、健康無関心型の生活習慣改善対策の推進
- Challenge 10 病状に応じた支援を受けられるよう、医療提供態様の調整体制を構築

Ⅲ 医療関係者の地域における活動の推進

病気や課題を抱えた方が、身体的・精神的に良好な状況になり、また経済的・福祉的な課題が解消している、生きがいを感じて暮らしていることが良好な暮らし（健康な生活）につながります。この考えを土台として、私営やボランティアなどで企業と協働する機会をつくり、また様々な課題について深く相談できる体制などの構築を整備します。

- Challenge 11 まちの保健室や薬局の役割の増加
- Challenge 12 医療関係者と交えた相談の場の増加
- Challenge 13 高齢者や障害者、課題（認知症、難病、認知症等）を抱えた人の就労支援・社会参加の推進
- Challenge 14 病気につながる様々な課題について相談でき、支援に結びつける体制整備

イノベーションとテクノロジーの活用

先端技術への理解を深めるとともに、人材を含め、先端技術を活用した医療・医療サービスを提供できる体制を整備する必要があります。

- Challenge 15 医療イノベーションの推進
- Challenge 16 新薬開発の促進による臨床研究の推進
- Challenge 17 感染症対策の推進
- Challenge 18 保健医・保健師の育成と働き方改革の推進
- Challenge 19 AIを活用したビッグデータ分析の推進

アウトカム（エビデンス）重視

医療・介護関係者だけでなく市民もエビデンスのある対策の必要性を理解し、その重要性を認識できる環境を整備します。具体的には以下の3点が重要です。

- ① 必要データを適切に取ることが出来る環境を作ること
- ② 取り組みについて適切に評価できる仕組みを構築すること
- ③ 成果を理解し、次につなげる環境があること

- Challenge 20 医療経営の改善の促進
- Challenge 21 データに則った保健指導の実施
- Challenge 22 糖尿病等のハイリスク対策の実施
- Challenge 23 栄養改善・社会参加を前提とする介護サービスの推進
- Challenge 24 需要予測・市民ニーズに則った医療・介護資源の行方（サービス内容、供給量）の検討
- Challenge 25 医療・介護サービスの質の評価の検討

G20岡山保健大臣会合支援推進懇話会とは

G20岡山保健大臣会合が2019年10月に開催されるに当たり、健康支援の取り組みや意識啓発の推進等を推進することを目的に、行政機関、経済団体、財団・国際・文化団体、マスコミ、市民団体、保健・医療関係団体の合同による会合として設立した組織です。

発行日：2019年11月

発行所：G20岡山保健大臣会合支援推進懇話会

（〒700-8501 岡山県岡山市東区G20保健大1 会合推進部）

住 所：岡山県岡山市東区大1-1-1 1号1号

電 話：086-803-1000

3. 開催後の活動

G20岡山保健大臣会合 開催報告パネル展の開催

【岡山市役所会場】

■開催日 2019年(令和元年)12月9日(月)～10日(火)

■場 所 岡山市役所本庁舎1階 市民ホール

【岡山県庁会場】

■開催日 2019年(令和元年)12月12日(木)～17日(火)

■場 所 岡山県庁本庁舎1階 県民室

【展示内容(両会場共通)】

○B1サイズパネル15枚

大臣会合や関連イベント、おもてなしの様子、PHOの策定とその概要等のパネル

○おりづるウェルカムボード

「おかやまっこ未来フェスタ2019」で実施した“国旗おりづるワークショップ”で折られたおりづるをG20の文字の形に貼り付けたもの。



パネル展おりづるボード



開催報告パネル

【制作したパネル一覧】

「G20岡山保健大臣会合が開催されました」

◆開催日時 2019年10月19日(土) 8時00分

◆会場 本ホール(グリーンホール)

◆出席者 岡山県知事 前野元久(岡山県知事)
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課 健康推進課長 小野 悠一
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課 健康推進課長 小野 悠一

◆講演者 岡山県知事 前野元久(岡山県知事)

◆開会式 岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶

◆閉会式 岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶

◆閉会式 岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶



「G20岡山保健大臣会合スケジュール」

1日
10月19日(土)

08:00-08:30 開会式
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一

09:00-11:00 G20 Health Ministers' Meeting
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一

11:30-12:00 閉会式
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一

12:00-13:00 昼食
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一

13:30-14:00 閉会式
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一



「G20岡山保健大臣会合スケジュール」

2日
10月20日(日)

◆2019年 G20岡山保健大会入賞者(授賞式)

1. 授賞式
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一

2. 授賞式
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一

3. 授賞式
岡山県知事 前野元久(岡山県知事)の挨拶
岡山県庁 岡山県保健医療課長 高橋 隆夫
岡山県庁 岡山県保健医療課 健康推進課長 小野 悠一

◆授賞式後には各自治体等が岡山の景観の様子を撮影し、それを記念として「G20岡山保健大会」の記念品を授与した。

授賞式後には各自治体等が岡山の景観の様子を撮影し、それを記念として「G20岡山保健大会」の記念品を授与した。

授賞式後には各自治体等が岡山の景観の様子を撮影し、それを記念として「G20岡山保健大会」の記念品を授与した。



「あたたかいおもてなし」

◆2019年 G20岡山保健大会入賞者(授賞式)

◆授賞式後には各自治体等が岡山の景観の様子を撮影し、それを記念として「G20岡山保健大会」の記念品を授与した。

◆授賞式後には各自治体等が岡山の景観の様子を撮影し、それを記念として「G20岡山保健大会」の記念品を授与した。

◆授賞式後には各自治体等が岡山の景観の様子を撮影し、それを記念として「G20岡山保健大会」の記念品を授与した。



3. 開催後の活動

【制作したパネル一覧】



3. 開催後の活動

【制作したパネル一覧】

